



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2007. 1月号

新年を迎えるにあたって

館長 浜口 哲一



写真・小絵馬「百足」(2、3ページと関連)

あけましておめでとうございます。2007年に博物館は31歳、いよいよ壮年期を迎えます。「地域博物館としての成熟」を目標に、館員一同頑張っていきたいと思いますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、平塚市では、昨秋「自治基本条例」が制定されました。これは、今後の街づくりの憲法にあたる条例で、博物館でもその趣旨にそった活動が求められます。その前文では、「私たち市民には(中略)先人が守り育てた文化や自然などの地域財産をいかしながら(中略)新たな街づくりが求められている」と述べられています。地域財産を掘り起こし、それを裏付ける資料と情報を収集することは、博物館の役目そのものであり、その仕事を多くの市民の方々との協働の中で進めていくことこそ、条例にそった館の姿だと考えます。博物館では、いままでもそうした考え方で、活動を進めてきましたが、条例制定を励みにして、一層の発展をはかっていきたいと思ひます。

また、条例の第3条では、「市民」の定義として「市の区域内において居住する人、働く人、学ぶ人・・・などをいいます」と書かれており、市外にお住まいの方も、市民として館活動に参画する権利があることが、はっきり位置づけられました。博物館に集う人の輪がさらに広がり、その知恵と力が活動にかされることを願っています。

絵馬に願掛け・・・

表紙の絵馬は、ムカデです。

なぜ、正月早々、イノシシではなく、ムカデなのかとお叱りを受けそうですが、あえてムカデにしました。この絵馬は、たくさんの足でやって来ることから「百足（むかで）」は千客万来（せんきゃくばんらい）やお足（お金）を連想させ、それを松（待つ）こと、つまり、商売繁盛を祈願するのに用いたと考えられます。私たちも、博物館もお客さんで賑わう一年になりますようにとの願いをムカデに込めました。

「もっと、もっと、たくさんの方が博物館に来てくれますように・・・」



トビズムカデ（左が頭）

ところで、左の写真は本物のムカデです（嫌いな方、ごめんなさい・・・）。ムカデは各体節に一对の脚を持ちますが、絵馬のムカデはそれ以上に脚が多いように見えます。足（お金）が多いように・・・との願いが反映されているようで、面白いですね。

ムカデは「百足」と書くように、「脚が100本ある」と思われていますが、実際には、脚の数は様々で、種類やグループによって決まっています。15対から140対を越えるものまで様々で、基本的に奇数対になっています。

博物館まつり

準備中

2007年2月10日(土)～2月25日(日)

1999年から毎年冬に開催してきた博物館まつりも、今年で8年目になります。博物館で活動するサークルの中から参加する団体をつのり、普段の活動成果を展示として紹介します。今回は10の団体が参加します。開催期間は、2月10日から25日ですが、その準備はもう始まっています。それぞれのサークルの代表が実行委員として集まり、博物館まつりに向けて話し合いを重ねています。また、各サークルでどんな展示にするか、アイデアを出し合っています。今年は実演など、来館者が実際に体験できるようなイベントを、いつもより多く用意する予定です。

博物館まつりは、普段目にすることの少ない博物館のサークル活動を見る絶好のチャンスです。この機会にぜひ一度博物館に足を運んで、気になる活動を探してみてください。



水辺の楽校生きもの調べの会 / 12月

寄贈品コーナー

「小絵馬の世界～菅間荘氏コレクション～」

会期：12月13日（水）～1月30日（火）

小絵馬（こえま）とは読んで字のごとく、大絵馬にたいする小さな絵馬です。大絵馬は神社の拝殿などの鴨居に掲げられた立派な絵馬で、歴史美術的価値も有するものです。小絵馬は吊り下げ式で、今もお正月に神社や寺院でさかんに奉納されています。干支の動物を描いた絵馬に、「合格祈願」「良縁祈願」「健康祈願」などの願文を各人が記して奉納します。



図1 母子拌み

展示した小絵馬は、平塚市岡崎在住で、当館初代館長でもある菅間荘さんが、長年にわたり全国各地から収集されたコレクションの一部で、平成18年8月に博物館へ寄贈していただきました。また、2007年の干支にちなみ、館蔵資料から猪の現代絵馬と郷土玩具も展示しました。

◎写真説明

図1 母子拌み

拌み絵馬は小絵馬の最も基本的モチーフ。とくに、女性が一人で神仏に拌む図が多い。これは幼子を抱えた母子拌みの図で、子授けの祈願か、子を授かったお礼に奉納したものかもしれません。

展示したのはちょっとむかしの伝統的な小絵馬。昔は絵馬屋さんが一枚一枚手書きをしたので、現代の絵馬と比べてみると絵柄がバラエティーに富んでいます。今の絵馬は印刷なので、ずらっと同じ絵柄が並んで、猪ならぜんぶ猪。

昔の小絵馬は手作りのぬくもりがあります。人々はどんな願を神仏にかけたのか、絵柄から推理してみるとおもしろい。意味が判らない絵もありますが、そこに絵解きの楽しさがあります。さまざまに想像をめぐらしてご覧ください。加えて、人々が神仏にすぎた思いを感じとっていただければと思います。



図2 母子入浴

図2 母子入浴

入浴絵馬の解釈はふたつ。ひとつは、お風呂嫌いの子どもを直してもらいたいとの祈願。もうひとつは、お陰様で病が癒（い）えてお風呂に入れるまで良くなりましたと感謝を表したもの。さて、この絵馬はどんな意味で用いられたのでしょうか。

図3 向かいめ

昔は囲炉裏（いろり）の煙でいぶされたり、夜暗い中で針仕事をしたりしたために、目を患う人が少なくありませんでした。そのため、お薬師様などには眼病治癒の願掛け絵馬がたくさん奉納されていました。両眼がぱっちり見えるようになりますようにと。



図3 向かいめ

6 土	○ 館長の自然講座 ○ あなたも市民調査員 「平塚のどんと焼きを調べよう」 ☆ 1月の星空ナビ	講堂 金目 地区 プラネ
11 木	石仏を調べる会	特研究室
12 金	古文書講読会	講堂
13 土	地質調査会 天体観察会 ◎ 漂着物を拾う会	屋外 屋上 虹ヶ浜
14 日	○ 水辺の楽校生きもの調べの会 天体観察会 平塚の古代を学ぶ会	講堂 屋上 講堂
17 水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学室 講堂
18 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
19 金	古文書講読会	講堂
20 土	○ 自然の新聞を作る会	野外
21 日	地質調査会 ◎ ろばたばなし	科学室 民家
25 木	石仏を調べる会	特研究室
26 金	古文書講読会	講堂
27 土	古代生活実験室 平塚の空襲と戦災を記録する会 地域史研究ゼミ 相模川の生い立ちを探る会 星まつりを調べる会	科学室 講堂 講堂 土屋 特研究室
28 日	◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	プラネ

<展示とプラネタリウム>

☆寄贈品コーナー「小絵馬の世界」

日時：～1月30日（火）

☆プラネタリウム

◎プラネタリウム「2007年の天文現象」

日時：～2月4日までの土日の午前11時と午後2時（1月6日、2月3日の午後2時の回をのぞく）

観覧料：100円（中学生以下無料）

◎1月の星空ナビ

1月の天文現象の解説をします。

投影日：1月13日（土）午後2時の回

◎プラネタリウムで宇宙を学ぶ会

「ギンガはどのようにして生まれたか」

宇宙にうかがふ銀河誕生のナゾにせまります。

日時：1月28日（日）午後3時30分～4時30分

参加：自由・入場無料

<参加者募集>

◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えます。

☆：展示、プラネタリウム ○：申込制 ◎自由参加 無印：年間会員制

1 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
2 金	古文書講読会	講堂
3 土	○ 館長の自然講座 ☆ 2月の星空ナビ ○ あなたも市民調査員 「平塚のどんと焼きを調べよう」	講堂 プラネ 特研究室
4 日	平塚の古代を学ぶ会 相模川の生い立ちを探る会	特研究室 小田原
8 木	石仏を調べる会	特研究室
9 金	古文書講読会	講堂
10 土	天体観察会 星まつりを調べる会 ◎ 漂着物を拾う会 ☆ プラネタリウム「隣の星へ」 ～4月8日 ☆ 博物館まつり ～2月25日	野外 特研究室 虹ヶ浜 プラネ 特研究室
15 木	○ 展示解説ボランティアの会	特研究室
16 金	古文書講読会 ◎ 星を見る会 ☆ ミニ文化祭「田んぼが育む生命」 ～3月15日	講堂 屋上 2階展示室
17 土	古代生活実験室 地質調査会 博物館まつり発表会	科学室 屋外 講堂
18 日	○ 水辺の楽校生きもの調べの会 ◎ ろばたばなし	屋外 民家
21 水	裏打ちの会 民俗探訪会	科学室 講堂
22 木	石仏を調べる会	特研究室
23 金	古文書講読会	講堂
24 土	平塚の空襲と戦災を記録する会 地域史研究ゼミ ○ 自然の新聞を作る会	講堂 講堂 屋外
25 日	地質調査会 ◎ プラネタリウムで宇宙を学ぶ会	科学室 プラネ

日時：1月13日（土）午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

参加：自由

（初めてのの方は往復ハガキで申し込むこと）

◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時：1月21日（日）

（1）午後1時20分～（2）午後3時～

場所：展示室民家

○自然の新聞を作る会

動植物の冬越しの様子を観察し、自然の新聞の記事にまとめます。

日時：1月20日（土）午後1時半～4時半

場所：総合公園

申込：1月10日までに往復ハガキで申込。定員30名。多数の場合は抽選。）